



活動の報告



制服のあり方検討会 10月～1月

検討会は3回開催され、小学生と中学生に分かれて「多様性」について学び、制服のあり方について考え、自分の意見をまとめました。

意見交換の時間では、「多様性の尊重」=「ちがいの尊重」、「〇〇だ、と決めつけないことも多様性」など自分が持っていなかった意見を知り、考えが広がりました！



制服展示会の見学 10月



令和3年10月9日、10日に開催された「みんなHAPPY標準服ギャラリー」へ見学に行きました。ずらーっと制服が並んでいて、びっくりしました！

1つ1つの制服に違いがあり、実際の生地を触ることも、ブレザーなどを着ることもできました。作っている企業の人にお話を聞くこともでき、大人からみた制服を知る機会にもなりました。

展示会には、現在の中学校制服も並んでいて、実際に着ている制服と比べながらじっくり考えることができました！

グループワーク 1月

小学生と中学生が混ざった班に分かれてグループワークをしました。

今まで、学んできたことや考えたことをそれぞれの視点から伝え合い、班ごとにテーマを決めて制服について提言する内容を考えました。それぞれ大事にしているポイントやテーマへの視点が違うので、意見をまとめることが大変でした。

グループワークの最後に行った発表会では、他の班の意見を聞いて、同じテーマがあっても発表の内容が違って、面白いなと思いました！



活動を通しての感想

- 「制服」という1つのテーマなのに人それぞれ、意見がたくさんあることに驚きました。
- 考えれば考えるほど違う意見や問題点がでてくるので、多様性は難しい言葉だと思いました。
- 班は小学生と中学生が混ざっているため、それぞれの考え方の違いも学べました。
- グループワークや多様性を学んだことで、よりよい制服について考えるヒントになりました。

松戸子ども新聞

令和4年3月発行
第78号

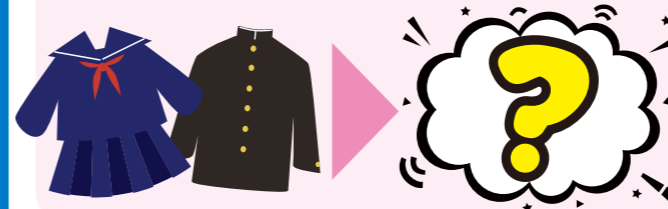
第48期子どもモニターが考えた

市立中学校の制服のあり方

松戸市の取り組み

松戸市教育委員会では学習指導要領の改訂やSDGs（持続可能な開発目標）などの社会的背景のもと、「子どもたちが主体的に多様性の理解を深め、人権意識を高めること」を目的に、市立中学校の標準服(制服)のあり方を検討しています。

その中で、令和3年度は子どもモニターのみなさんからの意見をもらいました。



子どもモニターってなあに？

子どもモニターは市長より委嘱をうけ、子どもの意見を市の政策や事業に反映させることを目的に活動しています。

第48期のメンバーは小学6年生12名と中学2年生22名の合計34名です。

今年度は、市立中学校の制服のあり方をテーマに活動しました！



制服ってどんなイメージですか？



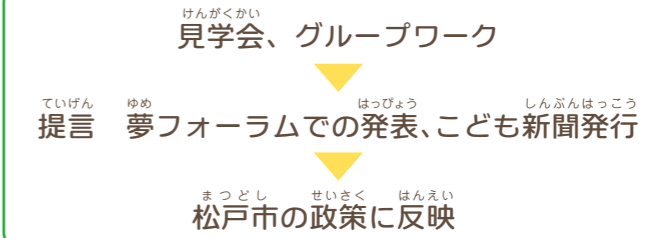
小学生のみなさんは、中学校の制服を見てどうですか？
中学生のみなさんは、実際に着てみてどうですか？

「あれ？」と知っていること、感じていないこと、中学校の制服について考える機会をもらった私たちは、どんな制服がみんなにとっていいものなのか考えることにしました。

「多様性」について学んだり、制服展示会の見学へ行ったり、グループワークで意見を出し合ったり、制服のあり方について考えました！

その内容をご紹介します！▶▶▶ 中に掲載

子どもモニターの活動と目的



松戸市子ども夢フォーラムとは？

松戸市子ども夢フォーラムは、学校活動のみならず、スポーツや文化芸術活動など多方面で活躍する子どもたちの表彰や活動紹介を通じて、すべての子どもの「夢」の実現を地域全体で支援することを目的に開催しているイベントです。

※今年度の発表は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となりました。

わたしたち第48期子どもモニターの提言

多様性について学んだことで、わたしたちは「個性や考え方のちがいを認めていくこと」「さまざまな立場のひとがくらしやすい社会をつくっていくこと」がこれまで以上に大切になることがわかりました。多様性を受け入れる社会に大きく変わっていくなかで、わたしたちに身近な制服にもその視点が必要だと考えました。

そこで、わたしたちの考えを提言します！

提言1 ユニバーサルデザインを取り入れる

- 車いすの人など障がいのある人も着やすいものに
- ケガをしたときにも簡単に着ることができる
- 上からかぶるだけ
- ボタンをなくしてチャック式
- まかないスカーフ



提言2 制服って必要なの？

- コロナ禍でジャージ登校の時期があった
- 登下校や式典などでしか着ていない
- 値段が高い
- 私服と制服の選択制
- 学校ごとに統一感が出る



提言3 伝統や文化を残したい

- 詰襟やセーラー服、学生服は日本の文化
- 今の制服もいいところがある
- 松戸の色(グリーン)を入れてほしい



提言4 SDGs への取り組み

- 丈夫な素材で長く着ることができる
- リサイクル・リユースするシステム
- 価格を下げる



提言5 性能

- 動きやすさ
- 着やすさ
- 家で洗える
- 通気性がよい



提言6 学校のルールづくり

- 着方、スカートの長さなどの指定
- 校則を守る人と守らない人の差がある
- 自由にすぎるのはよくない
- 学校はルールを守る練習の場所
- 制服に合わせて校則の見直しも必要



提言7 LGBT

- 男子はズボン？女子はスカート？
- 固定観念は取り払いたい
- 一人ひとりの個性を重視してほしい
- 男女統一モデルがあった方がいい
- パンツスタイルを標準モデルにする
- シャツの色や、リボン・ネクタイの色や柄を選択できるように

松戸市の中学校制服のこれから

松戸市教育委員会の方から、子どもモニターのみなさんの意見を直接聞く機会はとても貴重で、今回の活動を通して私たち大人も学ぶことが多くありました、とのお話がありました。これから、各学校で「制服のあり方」の検討が始まります。その時には、みなさんの意見を積極的に伝えていってほしいと思います！

SDGsとは？

SDGsは「持続可能な開発目標」のことです。すべての人が幸せに暮らし続けられるように、2030年までに世界全体で取り組み、目指すべき17の目標が設定されています。

LGBTとは？

性的マイノリティ(性的少数者)を表す言葉の1つです。

他にもLGBTQやSOGI(性指向と性のアイデンティティ)などの表現もあります。

多様な性があることから、性はグラデーションともいわれ、虹色がアイコンとなっていることが多いです。

ユニバーサルデザインとは？

すべての人のためのデザインを意味しています。年齢や障がいの有無にかかわらず、最初からできるだけ多くの人が使いやすいようにデザインすることをいいます。